

平成22年度事業報告

1. 事業の状況

当基金の基本財産運用環境は厳しく3年前のリーマンショック以降依然として回復基調にあらず、株安は継続され、加えて円高の影響で利金収入は減少し予算は達成出来たものの、前年度実績比5,081,850円減の30,410,990円となった。

助成事業については、共同事業のプロナトゥーラ・ファンド助成19件19,720千円、ナショナル・トラスト活動助成5件6,900千円を実施した。自主事業の直接助成に関しては外部への積極的な働きかけは行わず、継続しているシカの過食圧から高山植物等を守る対策の為の調査・研究、活動助成2件、2,300千円にとどまり総計26件28,920千円(前年度は29件29,597千円)の助成事業を実施した。

2. 事業の内容

I 共同助成事業

①プロナトゥーラ・ファンド助成

(財) 自然保護助成基金と (財) 日本自然保護協会で行なう一般公募による共同助成事業。

合計19件 19,720千円
(資料2-1)

②ナショナル・トラスト活動助成

(財) 自然保護助成基金と (社) 日本ナショナル・トラスト協会で行なう一般公募による共同助成事業

合計5件 6,900千円
(資料2-2)

II 自主助成事業

①直接助成

当基金が緊急且つ重要と認める自然保護に資する調査研究および活動への直接助成

合計2件 2,300千円
(資料2-3)

以上 I と II の総計

26件 28,920千円

III その他の事業

①第16回P.Nファンド助成成果発表会の開催 (懇親会を含む)

主催：(財) 自然保護助成基金・(財) 日本自然保護協会
日時：2010年12月11日 (土) 9:55~19:00
場所：こどもの城 (渋谷区)
出席者：100名超

②プロナトゥーラ・ニュース (年1回) の発行

なお、上記 I、II の各助成事業の内容詳細等は資料1、資料2(1-3)の通りである。

平成22年度 収支計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	平成22年度予算額	平成22年度決算額	差 異
I. 収入の部			
1. 基本財産運用収入	27,500,000	30,410,990	△ 2,910,990
2. 運用財産運用収入	50,000	21,071	28,929
3. 雑収入	0	144,500	△ 144,500
4. 基本財産評価損積立預金取崩収入	30,000,000	30,000,000	0
当期収入合計 (A)	57,550,000	60,576,561	△ 3,026,561
II. 支出の部			
1. 事業費	59,810,000	45,930,801	13,879,199
① 助成事業	40,000,000	28,920,000	11,080,000
PNファンド公募助成	(20,000,000)	(19,720,000)	(280,000)
ナショナル・トラスト活動助成	(10,000,000)	(6,900,000)	(3,100,000)
緊急且重要な直接助成	(10,000,000)	(2,300,000)	(7,700,000)
② 事業管理費	19,810,000	17,010,801	2,799,199
人件費	(8,580,000)	(7,765,335)	(814,665)
事務費	(11,230,000)	(9,245,466)	(1,984,534)
2. 一般管理費	8,140,000	8,715,332	△ 575,332
人件費	(5,720,000)	(5,768,002)	(△48,002)
事務費	(2,420,000)	(2,947,330)	(△527,330)
3. 特定預金支出	400,000	400,000	0
退職給与積立預金支出	(400,000)	(400,000)	0
4. 予備費	300,000	0	300,000
当期支出合計 (B)	68,650,000	55,046,133	13,603,867
当期収支差額 (A) - (B)	△ 11,100,000	5,530,428	△ 16,630,428
前期繰越収入差額 (C)	25,230,449	25,230,449	0
次期繰越収支差額 (A) + (C) - (B)	14,130,449	30,760,877	△ 16,630,428

正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
①基本財産運用益	
基本財産受取利息	30,410,990
②特定資産運用益	
特定資産受取利息	10,882
③受取寄付金	
受取寄付金振替額	1,009,670,000
④雑収益	
受取利息	10,189
雑収益	144,500
⑤引当金戻入額	
事業実施引当金戻入額	-
経常収益計	1,040,246,561
(2) 経常費用	
①事業費	
活動助成金	28,920,000
主催事業費	574,470
事業費－給料手当	6,790,000
事業費－法定福利費	975,335
事業費－退職給付費用	280,000
事業費－旅費交通費	397,990
事業費－通信運搬費	365,667
事業費－支払手数料	71,254
事業費－消耗品費	67,475
事業費－賃借料	2,479,500
事業費－新聞図書費	41,232
事業費－減価償却費	77,531
事業費－賃借更新料償却費	54,600
事業費－諸会費	35,000
事業費－P.N.F.分担金	5,000,000
事業費－PNニュース制作費	123,900
事業費－雑費	88,978
②管理費	
役員報酬	2,440,000
給料手当	2,910,000
法定福利費	418,002
退職給付費用	120,000
旅費交通費	614,088
通信運搬費	160,196
消耗品費	31,988
賃借料	940,500
新聞図書費	15,073
顧問料	819,000
PNニュース制作費	-

(単位:円)

科 目	当年度
会議費	209,986
手数料	14,536
諸会費	18,500
諸謝金	50,315
減価償却費	33,228
賃借更新料償却費	23,400
雑費	73,148
経常費用計	55,234,892
当期経常増減額	985,011,669
2、経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
基本財産評価益	
基本財産評価損引当金戻入額	30,000,000
経常外収益計	30,000,000
(2) 経常外費用	
基本財産評価損	
投資有価証券減損損失	1,009,670,000
経常外費用計	1,009,670,000
当期経常外増減額	-979,670,000
当期一般正味財産増減額	5,341,669
一般正味財産期首残高	25,816,693
一般正味財産期末残高	31,158,362
II 指定正味財産増減の部	
一般正味財産への振替額	-1,009,670,000
当期指定正味財産増減額	-1,009,670,000
指定正味財産期首残高	2,000,000,000
指定正味財産期末残高	990,330,000
III 正味財産期末残高	1,021,488,362

貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	当年度
I. 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	33,612,733
未収収益	5,860,332
流動資産合計	39,473,065
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
投資有価証券	990,330,000
基本財産合計	990,330,000
(2) 特定資産	
退職給付積立預金	1,750,000
基本財産評価損積立預金	0
特定資産合計	1,750,000
(3) その他固定資産	
什器備品	140,179
電話架設権	149,968
長期前払費用	61,750
その他固定資産合計	351,897
固定資産合計	992,431,897
資産合計	1,031,904,962
II. 負債の部	
1. 流動負債	
未払助成金	8,201,000
預り金	465,600
流動負債合計	8,666,600
2. 固定負債	
退職給付引当金	1,750,000
基本財産評価損引当金	0
固定負債合計	1,750,000
負債合計	10,416,600
III. 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
寄付金	2,000,000,000
一般正味財産への振替額	△ 1,009,670,000
指定正味財産合計	990,330,000
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000,000)
2. 一般正味財産	31,158,362
(うち特定資産への充当額)	(-)
正味財産合計	1,021,488,362
負債及び正味財産合計	1,031,904,962

財産目録

(平成23年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		1,031,904,962
1. 流動資産	39,473,065	
①現金	23,725	
②普通預金	33,589,008	
三井住友銀行渋谷支店	(33,529,408)	
中央三井信託銀行渋谷支店	(59,600)	
③未収収益	5,860,332	
2. 固定資産	992,431,897	
(1) 基本財産		
①有価証券(金融債)	990,330,000	
(2) 特定資産		
①退職給付積立預金	1,750,000	
(3) その他固定資産		
①什器備品	140,179	
②電話架設権	149,968	
③長期前払費用	61,750	
II. 負債の部		10,416,600
1. 流動負債	8,666,600	
①未払助成金	8,201,000	
②預り金	465,600	
2. 固定負債	1,750,000	
①退職給付引当金	1,750,000	
正味財産 合計 (I - II)		1,021,488,362

平成23年度事業計画

1. 事業の状況

リーマン・ショックを克服して世界経済は回復基調にあると見られているものの、日米の超低金利政策は依然として続いており、日本国内の株安・円高傾向は継続したまま推移している。その影響もあり、当財団の基本財産運用環境はすこぶる厳しい状況のもと運用収入減少は避けられなくなり、19,620千円（前年度予算比△7,880千円）前後となる見込。

事業も大幅に減少せざるを得ず、前期繰越収支差額を補填して、一般公募助成のプロ・ナトゥーラ・ファンド、およびナショナル・トラスト活動に助成を、また、緊急案件に対処する為直接助成を継続する。

2. 事業の内容

(1) プロ・ナトゥーラ・ファンドによる一般公募助成

国内調査研究助成	}	総 額	18,000千円
国内活動助成			
海外助成			

(2) ナショナル・トラスト活動助成

絶滅が危惧される種や、貴重な生態系の保護のために必要な私有地を買取りまたは借り上げ、私的保護区（ナショナル・トラスト）とする資金の公募助成（(社)日本ナショナル・トラスト協会との共同事業）

2,000千円

(3) 当基金が緊急且つ重要と認める自然保護に資する調査研究あるいは活動への直接助成

2,000千円

以上 (1)～(3)の助成額合計 22,000千円

(4) その他の事業

P.N.ファンド助成成果発表会を12月初旬に開催の予定(開催場所未定)

平成 2 3 年度 収支予算

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	平成23年度予算額	平成22年度予算額	差 異
I. 収入の部			
1. 基本財産運用収入	19,620,000	27,500,000	△ 7,880,000
2. 運用財産運用収入	20,000	50,000	△ 30,000
3. 基本財産評価損積立預金取崩収入	0	30,000,000	△ 30,000,000
当期収入合計 (A)	19,640,000	57,550,000	△ 37,910,000
II. 支出の部			
1. 事業費	40,400,000	59,810,000	△ 19,410,000
① 助成事業	22,000,000	40,000,000	△ 18,000,000
PNファンド公募助成	(18,000,000)	(20,000,000)	(△ 2,000,000)
ナショナル・トラスト活動助成	(2,000,000)	(10,000,000)	(△ 8,000,000)
有力保護団体助成	0	0	0
緊急且重要な直接助成	(2,000,000)	(10,000,000)	(△ 8,000,000)
② 事業管理費	18,400,000	19,810,000	△ 1,410,000
人件費	(8,400,000)	(8,580,000)	(△ 180,000)
事務費	(10,000,000)	(11,230,000)	(△ 1,230,000)
2. 一般管理費	8,600,000	8,140,000	460,000
人件費	(5,600,000)	(5,720,000)	(△ 120,000)
事務費	(3,000,000)	(2,420,000)	(580,000)
3. 特定預金支出	400,000	400,000	0
退職給与積立預金支出	(400,000)	(400,000)	0
4. 予備費	300,000	300,000	0
当期支出合計 (B)	49,700,000	68,650,000	△ 18,950,000
当期収支差額 (A) - (B)	△ 30,060,000	△ 11,100,000	△ 18,960,000
前期繰越収支差額 (C)	30,760,877	25,230,449	5,530,428
次期繰越収支差額 (A) + (C) - (B)	700,877	14,130,449	△ 13,429,572